

日本ユニシス エンタープライズサーバー「Unisys ClearPath® Server」2機種を販売開始 大型機 CS6200L シリーズと中型機 CS4200L シリーズを提供

日本ユニシス株式会社（本社：東京都江東区、社長：黒川 茂、以下 日本ユニシス）は、米国ユニシスのエンタープライズサーバー大型機「CS6200L シリーズ」と中型機「CS4200L シリーズ」を本日から販売開始します。

「CS6200L シリーズ」は、MCP^(注1)環境で稼働する大型機「CS750L シリーズ」の後継機に位置付けられる機種で、インテル® Xeon®オクタル(8)コア・プロセッサ^(注2)を搭載、処理性能は前機種「CS750L シリーズ」と比較して、単一プロセッサ当たりで約10%向上しています。

「CS4200L シリーズ」は、MCP環境で稼働する中型機「CS4100L シリーズ」の後継機に位置付けられる機種で、インテル Xeon オクタル (8) コア・プロセッサを搭載し、処理性能は前機種「CS4100L シリーズ」と比較して、単一プロセッサ当たりで約16%向上しています。

両シリーズ共に、企業の基幹システムとして活用できる信頼性と可用性を高めた High Availability (HA) システムで提供すると共に、既存システムのモダナイゼーションを支援する「ClearPath Portal」を両シリーズの基本ハードウェア構成の中に標準搭載しています。また、提供モデルは、お客さまの利用形態で選択できるように、従来型の固定性能モデル^(注3)とプロセッサの使用量に応じて課金する従量制モデル^(注4)の2形態で提供します。

「CS6200L シリーズ」と「CS4200L シリーズ」の主な特徴は、以下のとおりです。

■ 「CS6200L シリーズ」

1. CMOS^(注5)プロセッサの処理を上回る性能を発揮

これまで米国ユニシス独自開発の ClearPath 専用 CMOS プロセッサを採用してきた大型機システムですが、「CS6200L シリーズ」はインテル Xeon オクタル(8)コア・プロセッサを搭載しながら、はじめて CMOS 機種の「CS750L シリーズ」を上回る処理性能を実現しています。（単一プロセッサ当たりで約10%向上、単一 OS 環境下のシステム最大性能では約210%向上。）

2. インテルプロセッサ上で、従来の CMOS 機との完全互換性を実現

インテルプロセッサの専用ファームウェア上で従来の CMOS 機と完全互換の MCP 環境を実現しているため、お客さまのプログラム資産をそのまま継承することが可能です。また、提供プロセッサ性能は最大84倍の拡張性を有し、お客さまの必要とする最適な性能モデルの選択が可能です。

■ 「CS4200L シリーズ」

1. 従来機と比較して大幅な性能向上を実現

「CS4200L シリーズ」は、従来の「CS4100L シリーズ」と比較して、単一プロセッサ当たりで約16%向上しています。また、単一 OS 環境下のシステム最大性能は約33%と大幅に向上しています。加えて、提供プロセッサ性能は、シリーズ内で最大48倍の拡張性を有し、お客さまの必要とする最適な性能モデルの選択が可能です。

■ 「CS6200L シリーズ」、「CS4200L シリーズ」共通

1. 高可用性システムの提供とオールインワン構成のハードウェアを提供

お客さまの止められない基幹システムに活用していただくために、本体構成を二重化した High Availability (HA) システムを標準提供します。さらに、プロセッサやメモリ、I/O チャンネルなど基本モジュールに搭載される機器は、すべて基本搭載したオールインワン方式で

提供します。

2. 基幹系システムのモダナイゼーションを実現する「ClearPath Portal」を標準搭載

既存システムのモダナイゼーションを支援する「ClearPath Portal」を両シリーズの基本ハードウェア構成の中に標準搭載しています。「ClearPath Portal」は、従来の専用端末からしかアクセスできなかった MCP アプリケーションを、ノンプログラミングで Web ブラウザ、モバイル端末、スマートフォン、Web サービスと連携可能にしますので、基幹システムの持つ堅牢な環境の中で Web サービスが提供できるようになります。

今回販売を開始する各機種の場合は、以下のとおりです。

■ 「CS6200L シリーズ」

最小構成価格 592 万円/月額（ハードウェア、ソフトウェア、保守料金の合計、税別）から。

■ 「CS4200L シリーズ」

最小構成価格 539 万円/月額（ハードウェア、ソフトウェア、保守料金の合計、税別）から。

以上

注 1: MCP

Master Control Program の略称であり、Unisys ClearPath Server 用オペレーティング・システムのことで

す。

注 2: オクタルコア・プロセッサ

1 つのソケット上に、8 つのコアを搭載しているプロセッサです。

注 3: 固定性能モデル

固定の性能で提供される従来型のモデルです。性能を強化する手法として、上位の性能モデルにアップグレードすることで恒久的な性能アップを図る手法と、キャパシティ・オン・デマンド機能を活用して一時的に性能をアップする手法があります。

注 4: 従量制モデル

米国ユニシス独自のメータリング技術により、MCP システムのプロセッサ使用量を計測して課金を行うモデルです。提供される性能は、各シリーズの最大性能が提供されるため、MCP システムのプロセッサ性能を必要な時に必要なだけ自由に使うことができます。

注 5: CMOS (Complementary Metal Oxide Semiconductor)

米国ユニシス固有 OS 専用のプロセッサです。

* 関連 URL:

「ClearPath Server」<http://www.unisys.co.jp/clearpath/>

「CS6200L シリーズ」<http://www.unisys.co.jp/clearpath/cs6200l/>

「CS6200L シリーズ 仕様」http://www.unisys.co.jp/PDF/CATALOG/pdf/090001080-0_CS6200L.pdf

「CS4200L シリーズ」<http://www.unisys.co.jp/clearpath/cs4200l/>

「CS4200L シリーズ 仕様」http://www.unisys.co.jp/PDF/CATALOG/pdf/090001079-0_CS4200L.pdf

* ClearPath は、Unisys Corporation の登録商標です。

* インテル、Xeon は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

* その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。